

2023年6月29日
報道機関各位



名城大学

MEIJOth
MEIJO UNIVERSITY 1926 - 2026

外国語学部×附属高等学校×シンガポールの国際団体による
高大学連携プロジェクト
課題解決をオンラインでプレゼン 7月4日（火）15:00～

名城大学外国語学部（名古屋市東区）は2023年4月から、学部生と附属高校生がチームを組み、シンガポールに本拠を置く国際団体から提示された課題を解決する「高大連携」のプロジェクトを進めてきました。

大学生は「基礎演習Ⅱ（国際経営戦略学論）」の講義を通して世界企業の理論的枠組みや企業の経営戦略を学び、高校生はその内容を共有し、大学生1人と高校生3人によるチームで課題解決のアイデアを模索してきました。（一部高校生だけのチーム有）



これまでにZoomを活用して議論を重ね、一次提案と外国語部会の国際英語教員によるフィードバックを行ってきましたが、7月4日には団体とオンラインで結び、7チームが10分間ずつ英語で最終提案をプレゼンし、団体からの質問などにも答えます。

大学生と高校生たちの学びの集大成をぜひ、ご取材ください。

日時	2023年7月4日（火）15:00～17:00
場所	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス西館3階 DW306 〒461-0048 名古屋市東区矢田南4丁目102番地9
参加者	名城大学外国語学部国際英語学科2年生 5名 名城大学附属高等学校国際科2年生 27名 名城大学外国語学部教員 西尾由里教授ほか8名 名城大学附属高等学校教員 杉本健 シンガポールボタニックガーデン ハビタット・フォー・ヒューマニティー シンガポール
取材要領	取材していただける場合は、 7月3日（月）15:00までに koho@ccml.meijo-u.ac.jp へメールでお知らせください。メールのタイトルは「外国語学部高大連携/社名」とし、本文には、①部署名 ②担当者名 ③電話番号 ④参加人数 をご明記ください。 *ナゴヤドーム前キャンパスへは公共交通機関でお越しください。

2023年6月29日
報道機関各位



名城大学

MEIJOth
MEIJO UNIVERSITY 1926 - 2026

【プロジェクトの狙い】

- ・世代の異なる学生間での協働・互助学習と、主体的・対話的な学びが期待できる。
- ・国際団体からの実際の課題に取り組むことで、海外事情や異文化への深い理解、自国文化の再認識とその発信など、豊かな教養と広い視野の育成が期待できる。
- ・ICTの活用やプレゼンでの英語使用は、「多様な文化・言語を持つ人たちとのリアルな社会」を体現し、高大連携と英語学習を融合した21世紀型学習モデルの提示となる。

【当日の流れ】

- 15:00～ 企業①（ボタニックガーデン）の課題説明
チームごとの発表各10分、質疑応答4分
企業①からの総評
- 15:51～ 企業②（ハビタット・フォー・ヒューマニティー）
チームごとの発表各10分、質疑応答4分
企業②からの総評
- 16:49～ 大学教員からの講評

【参加協力団体について】



1) シンガポールボタニックガーデン(シンガポール初の世界遺産)

1822年に近代シンガポールの創設者で博物学者のスタンフォード・ラッフルズ卿がフォート・カニングに最初の国立庭園として創設。その後イギリス風の庭園となり、1874年に英国植民地政府に引き渡されたのち、重要な植物研究所としての役割を果たし、現在はシンガポール政府が管理している。2015年に世界遺産に登録（唯一の熱帯植物園）。82ヘクタールの広大な庭園にはギャラリー、レストラン、ショップがあり、シンガポールの人たちの憩いの場となっている。



2) ハビタット・フォー・ヒューマニティー シンガポール(国際 NGO)

「誰もがきちんとした場所で暮らせる世界」の実現を目指し、世界70ヶ国以上で住まいの問題に取り組む国際 NGO。1976年に故ミラード フラーと妻リンダが、「ハビタット・フォー・ヒューマニティ」として、米国ジョージア州のコミュニティ農場で始めた。現在はボランティアと協力して、あらゆる背景、人種、宗教の人々とともに、3,000以上のコミュニティで980万人以上の人々に安全で適切な住まいを提供している。

<発信元> 名城大学渉外部 広報課

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目501番地

TEL:052-838-2006 FAX:052-838-9494 MAIL:koho@ccml.meijo-u.ac.jp